

地域に「感謝」表したい 手作り正月飾りを 玉野高3年生お年寄りに贈る

お世話になっている地域に感謝の気持ちを込め、玉野高校の3年生が22日、手作りの正月飾りを学校周辺に住む1人暮らしのお年寄りに贈った。胸上、鉾立の両野球スポーツ少年団は23日、清掃奉仕活動をした。

正月飾りは興陽高校(岡山市南区)から提供された稻わらを使用。

全3年生156人が期末考査の終わった12日から放課後を中心に編み、120個を作った。

福本まゆみ校長から「お飾りと一緒に、笑顔と元気を届けて」と送り出され、生徒有志35人が民生委員らの案内で、手分けしてお年寄り宅を訪問。「来る年が良い年になりますように」などと書かれた手紙を添えて、正月飾りを手渡した。



手作りの正月飾りを1人暮らしのお年寄りに配る
玉野高3年生

「喜んでもらおうと思って、一生懸命作った」と小金谷明代さん(18)。昨年に続いて受け取った上田ヨリエさん(77)「築港は「手作りの温かみを感じられる。今年も届くのが楽しみだった」と話していた。(正本和臣)

平成二八年二月二五日付 山陽新聞 (一部改変)